

竹田さんは、国語の時間に慣用句かんようくについて調べたことを発表することになりました。次は、その【発表原稿はつぱうげうの下書き】です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【発表原稿の下書き】

みなさん、「実を結ぶ」という言葉を聞いたことがありますか。

①この前、わたしが、母といっしょにオリンピックについて書いてある新聞を読んでいたときのことです。②金メダルをとった選手の記事を見て、母が、「この選手は、今までの苦労が実を結んでよかったね。」と言いました。しかし、わたしは「実を結ぶ」という意味がわからなかったので、母にたずねてみました。③すると、母が、「実を結ぶ」という言葉は、「よい結果を得る」という意味だと教えてくれました。④このような言葉を、慣用句と言います。⑤慣用句とは、二つ以上の言葉が組み合わさって、特別な意味を表すようになった言葉です。

A、どのような慣用句があるか国語辞典で調べてみると、「心」という言葉を使った慣用句がありました。慣用句は、様子などをわかりやすく伝えることができるので、昔から生活の中で使われてきました。慣用句は、もとの言葉の意味とちがっているので、慣用句を使うときに大切なことは、その意味を正しく理解して使うことが大切だと思いました。

一 竹田さんが書いた【発表原稿の下書き】の文章のの部分だんを、二つの段落に分けたいと思います。①から⑤をどのように分ければよいでしょうか。あとの1から4までのの中から、一つ選んでその番号に○をつけましょう。

- | | | |
|---|-------|------|
| 1 | ①と | ②③④⑤ |
| 2 | ①②と | ③④⑤ |
| 3 | ①②③と | ④⑤ |
| 4 | ①②③④と | ⑤ |

二 Aに入るふさわしいつなぎ言葉を、あとの1から4までのの中から、一つ選んでその番号に○をつけましょう。

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|------|---|-----|
| 1 | そこで | 2 | けれども | 3 | すなわち | 4 | つまり |
|---|-----|---|------|---|------|---|-----|

三 竹田さんは、の部分の『心』という言葉を使った慣用句の例文を考えました。【竹田さんが考えた例文】のに入るもつともふさわしい慣用句を、【国語辞典で調べた内容】のAからEまでのの中から、一つ選んでその記号に○をつけましょう。

【竹田さんが考えた例文】

本を読んでいると、主人公が妹をはげます場面で、強くわたしの言葉があった。

【国語辞典で調べた内容】

ア	心を配る	意味	あれこれと気を使う。
イ	心を通わせる	意味	気持ちをはかり合う。
ウ	心をおどらせる	意味	どきどきわくわくする。
エ	心を打つ	意味	深く感動させる。

四 竹田さんは、——部を読み直して、「書き方がおかしい」と感じました。「慣用句を使うときに大切なことは、」に続けて、正しく直した文を書きましょう。

慣用句を使うときに大切なことは、。